

たくましく 心豊かな 地球市民	瞳かがやく 附属松本中の子ら すずかけの森	令和7年8月22日（金） 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だより No.4
-----------------------	---------------------------------	---



夏休みが明け、校内には生徒たちの元気な声とともに活気が戻ってきました。友と夏休みの楽しい出来事を語り合う姿や、学習の話題で熱く盛り上がる姿から、それぞれが休み中に心身をリフレッシュさせながらも、有意義な時間を過ごしてきたことが感じられます。

この夏は、北信越大会で最後まで自らの記録に挑み続けた水泳部の生徒、各大会で全力の演奏を響かせた吹奏楽部・合唱部の生徒、附中祭に向けて準備を進めてきた生徒会役員や文化部の生徒、総合の活動で地域の方々と共に取り組んだ生徒など、それぞれの舞台で輝きを放つ姿が見られました。



来週からは教育実習Ⅰ（後半）が始まります。さらに、10月の附中祭に向けての準備も本格的に動き出します。附中のみんなで創り上げる場、分かち合う時間を大切に、前期後半も過ごしていきたいと思います。

20日の校長講話では、全国学力・学習状況調査の質問紙の回答データなどをもとに、本校の学校目標にも掲げられている「心の豊かさ」についてのお話がありました。今回の講話をきっかけに、継続して「心の豊かさ」や「いじめ」について考えていきます。時には、保護者の皆様にもご参加いただきながら、子どもたちと共に学びを深めていきたいと思います。

「心の豊かさ」と「いじめ」について ～8月20日校長先生のお話より～

長い夏休みが終わりました。皆さんは楽しかったでしょうか。

水泳部の皆さん、吹奏楽部の皆さん、合唱部の皆さん、柔道に出た皆さん、信州 makers キャンプに参加した皆さん、活躍したと聞いています。また、私の知らないところでも、活躍していた生徒がいたと思います。よく頑張りましたね。そして、皆さんが大きなケガなくこの日を迎えられて私はとてもうれしいです。

夏休みいろいろなニュースが飛び込んできました。最近甲子園のニュースが大きく報道されていますね。

他にもこんなニュースがありました。信濃毎日新聞の記事ですが、全国学力学習状況調査の結果が報道され、長野県内の小学生が算数と理科で、中学生は数学で、全国平均を下回ったという記事です。厳しい指摘ですね。では、本校の3年生の結果はどうだったのでしょうか。

国語は、大きく全国平均を上回っています。数学は、さらに全国平均を上回っていますね。しかし、学力だけでないのです。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した人も、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した人も、全国を上回っています。これは、生徒会の頑張りや、先生方の頑張り、みんなの頑張りのおかげでしょう。うれしくなります。

また、「地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」は大きく全国平均を超え、「どちらかといえば、当てはまる」という肯定的な回答を加えても、全国を大きく上回っており、総合的な学習の時間の取り組みが活きており、本校の学校目標に近づいている姿だと感じます。



前期前半の校長講話では、「たくましく」という学校目標を語ってきましたので、前期後半からは「心の豊かさ」について考えていきたいと思います。

皆さん、心の豊かさ、心豊かな人ってどんな人だと思いますか。

戦国時代の偉人で考えてみましょう。「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」「千利休」この中で、誰が心豊かだと思いますか。挙手してみてください。「千利休」が多いですね。

次は、サザエさん一家で考えてみましょう。「サザエさん」「カツオくん」「波平さん」「フネさん」。心豊かなのは誰でしょう。挙手してみてください。「フネさん」が多いですね。

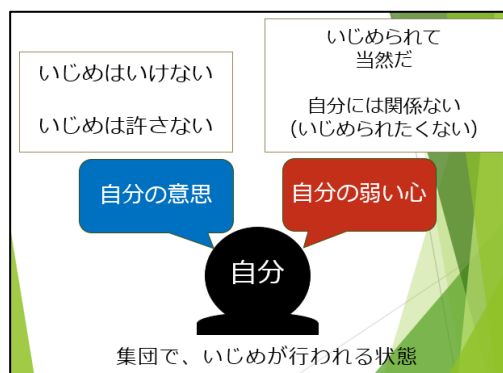
最後に知らない人もいると思いますが、映画公開中なので鬼滅の刃で考えてみましょう。「竈門炭治郎」「産屋敷耀哉」「鬼舞辻無惨」「累」。心豊かなのは誰でしょう。挙手してみてください。「産屋敷耀哉」が多いですね。

「心の豊かさ」は、様々な心を育んでいくことになります。どんな心があると思いますか。「自己肯定感」「自己受容」「他者への共感」「思いやり」「感謝心」「好奇心と学ぶ意欲」「困難を乗り越える力」「世俗に流されない」…まだあると思いますが、こんな心を育んでいく必要があると思います。これは、本校の学校目標のサブテーマにもつながってきますね。

こういう心を育み、心が豊かになると、「精神的な充足感」「幸福感」「人生に対しての肯定的な姿勢」「ウェルビーイング」につながっていくわけですね。

これまでの校長講話で話した「自分の意思」と「自分の弱い心」で考えると、「自分の意思」が「心の豊さ」につながり、「自分の弱い心」が対極の「心の貧しさ」につながっていると思っています。

「心の貧しさ」をほっておくと心が蝕まれていきますが、どんな心になってしまうのでしょうか。「感謝の念の欠如」「他者への無関心、軽視」「自己中心的な思考」「劣等感 嫉妬」「自慢や愚痴」「責任転嫁」 こういうものがあるのですが、こういうものが私は「いじめ」につながってくるのだと考えています。



このように「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している他の児童等が行う、心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と法律で規定され、許されない行為であることは皆さん知っていると思います。

しかし、自分の意思で「いじめはいけない」「いじめは許さない」と思っている、心のどこかに潜んでいる「あいつはいじめられて当然だ」「自分は関係ない」という「自分の弱い心」に負けると、自分が支配され、学級全体にこのような空気が広がってしまうと、いじめが行われる状態になると思っています。

先ほどの全国学力学習状況調査の結果にこんな質問がありました。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問です。本校の結果はどうだったのでしょうか。「当てはまる」は全国平均よりも約15ポイント下回り、「どちらかといえば、当てはまる」を入れても全国を下回る結果となりました。これは、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っていない人が、全国平均より多くいるとも考えることもできます。

学力が全国を大きく上回り、学校が楽しく、地域や社会をよりよくしたいと考えている3年生の回答がこうなったのです。どうしてなのでしょう。これは、3年生だけの問題ではないと私は考えています。

2学期は、「心の豊かさ」そして「いじめ」について考えていきます。これは、皆さんだけでなく、保護者の皆さんにも考えていただく予定です。一緒に考えていきましょう。

